

各々様々に 活躍しています

明日から11月、今月は終盤さまざまな大会が行われ生徒が参加しました。10月21日(土)～22日(日)に秋田県で開催された第27回全国産業教育フェア・第16回全国高校生フラワーアレンジメントコンテストに生物生産科3年長谷川みゆさんが出場し、惜しくも入賞は逃しましたが、この大会に向けて事前練習を重ね、島根県の景観や家族のあたたかさを感性豊かに表現しました。

10月25日(水)～26日(木)は岡山県で第68回日本学校農業クラブ全国大会が行われ、本校からはクラブ員代表者会議と農業鑑定競技会に6名の生徒が参加しました。環境土木科3年の佐藤佑哉さんが農業土木部門で入賞を果たしましたが、他の部門での入賞はできませんでした。鑑定競技会に参加した5名のうち3名が2年生ですので、来年は是非とも多くの生徒が入賞すること、そして平成14年度に農業部門で最優秀賞を受賞した以降遠ざかっている日本一を目指して頑張ってもらいたいと願っています。

この岡山大会には約5300人が参加し、大会式典では意見発表、プロジェクト発表の各分野の最優秀者(最優秀校)の発表があり、地域と連携した商品開発の取組や、自らの経験に基づいた特産品の開発過程など、農業高校がそれぞれの地域で、地域の抱える課題を高校生が解決していこうとする意欲と創意にあふれた内容の発表が行われました。また小泉進次郎氏が農業高校生の応援に駆けつけ、「農業高校で学んだことに自信を持ち、日本の食の将来を担ってほしい。農業と食料を学び、その大切さが理解できる消費者になってほしい」と激励がありました。

10月28日(土)は雲南市加茂文化ホール ラメールで、第41回島根県高等学校演劇発表大会県大会が行われ、本校からは総合学科2年門脇優里さんの創作劇「ただいま。」を発表しました。農家の娘が進路に悩む姿を、農業後継者や高齢化の問題など今の農業・農村そして農家が抱える問題と自分のやりたいことにどう向き合うかを、実話をもとに考えたストーリーのようです。目標としていた平成12年以来の17年ぶりの中国大会出場は叶いませんでしたが、特別賞である創作脚本賞を門脇優里さんが受賞したことは、すごいことだと思います。この劇は本年度の収穫祭(11月22日(水))でも上演されますので保護者の皆様もどうぞご覧ください。

同じ日にはサッカー選手権大会の2回戦が松江商業高校で行われ、開星高校と対戦した本校は3対2で勝利し、11月4日(土)に益田市で行われる準々決勝に進出しました。準々決勝の相手は大社高校ですが、開星高校戦の後半攻め込まれながらも最後まで守り切った粘り強さと、チームワークで準決勝にコマを進めてほしいと祈っています。

このほか、高校書道展が県立美術館で、ソフトテニス新人戦が浜田と江津で、卓球新人戦が浜田で行われ、もう少しのところの僅差で中国大会出場を逃したこと、次の大会に進出できる選手がいたことなど報告がありました。地道にさまざまな活動を生徒は行っており、休みの日が忙しいという生徒も実際に多いのではないかと思います。10月29日の日曜日は松江市農林水産祭が行われ、雨の降る中生物生産科と総合学科食品科学系列の生徒が、松江市総合運動公園で学校でできた農産加工品の販売を行っています。

こうやって部活動、課外活動、地域連携活動などさまざまな活動をとおして生徒は社会人として、職業人としての力をつけていきます。宍道湖サービスエリアでの販売実習(11/3)や松江市環境フェスティバル(11/5)、食の縁結び甲子園ボランティア(11/11)、そして収穫祭(11/23)と地域が舞台の活動やバスケット、柔道、バレー、バドミントン等の新人戦・選手権、高校駅伝などが続きます。



最終試作品です



校内は今、菊の花が満開です。生物生産科3年の生徒がグリーンライフの授業で育てたものです。松江市菊花展にも出品しています。